春風秋霜 10月号

令和８年 10 月５日
島田市教育委員会だより
教育長　服部正美

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む　　佐藤一斎

家庭教育講演会（９月 12 日（土）開催 夢づくり会館）

今年の家庭教育講演会では、助産師・性教育アドバイザーの高野しのぶさんを講師にお招きし、「子どもに贈りたいいのちの話」～自分の子供を守るために、性教育は幼少期～～包括的性教育とは～の演題で、お話ししていただきました。

性に関する事件が多い昨今。性に関する正しい知識を知っておくことは大切だと思っています。性教育とは、ありのままの自分で幸せに生きるためのスキルを学ぶことと言われています。自分がどうしたいのか、自分の意志で決めていくことの大切さを講演で話してくれました。

「自分の心と体を大切にする子」を育てるための親の優しいかかわり方として３つのポイントをあげました。

１「なんでも話していいよ」のぽかぽかオーラを出そう。
２　否定せず、まずは一度「まるごと受け止める」
３　触れる時には、必ず「子どもの同意」をとる

講師の高野さんの挙げた３点は、教師が子供とかかわるときに大事にしたいことにつながります。

１について。教員が子供に対し何でも話していいよと、明るく自然に受け止めるぽかぽかオーラを出しているかを問われています。積極的に話しかけてくる子ばかりではありません。子供の様子を見て、こちらから話していくことも大切です。

２の姿勢も大切なかかわりです。受け止めてくれるという安心感が、安全安心のもとになります。自分のことを理解しようとしてくれている先生の存在は、子供にとって心強いものです。理解するということが、その指導や支援につながります。

高野さんの講演から、子供への指導の大切なことをつなげてみました。

９月議会がありました

9 月定例議会（8 月 24 日～9 月 28 日）が、開かれました。
一般質問では、教育委員会にかかわる質問がありました。（順不同）
・教育長の教育行政に対する所信について
・生成 AI 時代に対応した教育推進について（学校教育課）
・シティズンシップ教育の推進について（学校教育課）
・不登校対策と学びの多様化学校設置について（学校教育課）
　校内教育支援センターについても、話題になりました。
・特認校制度の現状と今後の取組について（学校教育課）
・学校体育館の空調設備導入について（教育総務課）

・部活動の地域展開の実効性確保と課題解消に向けた制度設計について（学校教育課）
・北部地区スクールバス駐車場について（学校教育課）
・学校の立地の条件について（教育総務課）
・学校敷地内への防災用の井戸設置について（教育総務課）

一般質問した議員さんが 16 名。そのうちの７名が上にあげた教育に関する質問をしました。

肘掛け椅子　「給食ドラマ」のブームに寄せて

学校給食課長 飯田和之

近年、テレビや配信サービスで「学校給食」をテーマにしたドラマが根強い人気を集めています。一見、エンターテイメントの世界の話ですが、そこには私たち学校給食センターが日々向き合っている「現場の真実」が描かれていると感じています。今回は、そんな２つの人気ドラマを紹介します。

１　『おいしい給食』（主演：市原隼人さん）

給食マニアの先生と生徒の闘いをコミカルに描いたこのドラマでは、主人公たちが「配られた給食をいかに美味しく、自分らしく食べるか」に情熱を注ぎます。

給食は、原則として全員に同じメニューが配られますが、ドラマの子供たちは食べる順番を工夫したり、パンに具材を挟んだりと、限られた中で最大限に個性を発揮します。

また、ドラマでは給食の時間だけは先生と生徒の上下関係を超え、お互いをリスペクトし合います。同じ食卓を囲むことで心が通じ合う、そんな給食時間の持つ大きな力を表現しているのだと感じています。

２　『Chef～三ツ星の給食～』（主演：天海祐希さん）

一方、天才シェフが学校給食の調理員となって奮闘するこのドラマでは、私たちが日々直面しているとてもリアルな世界観が描かれています。学校給食には、一食あたりの単価を設定した「予算」があります。さらに、厳格な「栄養基準」と徹底した「衛生管理」が求められます。このドラマでは、これらの壁に直面した主人公が、技術とアイデアで子供たちに「最高に美味しい！」と言ってもらえる給食を提供する姿が描かれています。これは、給食センターの現場で奮闘する栄養教諭、栄養職員、栄養士、そして調理員の姿、そのものです。

★給食は「未来の大人を育てる」大切な教育です！

給食の時間は、単にお腹を満たすためだけのものではありません。地域の食材を知り、作ってくれた人に感謝し、マナーを身に付け、仲間との絆を深める「食育」の場であり、大切な教育の一環です。

私たちの毎日の業務は、衛生管理やアレルギー対応など、神経を研ぎ澄ます瞬間の連続であり、決して派手なものではありません。しかし、私たちが届ける温かい給食は、子供たちの健やかな身体をつくり、豊かな心を育む基盤になっていると信じています。

私たちは、ドラマに負けない情熱と誇りを胸に、これからも子供たちの「美味しい！」という笑顔のために、安全・安心で魅力のある学校給食を届けてまいります。

最後に、ドラマをみたことのない方は是非この機会に一度ご覧になってみてはいかがでしょうか！